



ひょうごの海を活用したブルーカーボンの取組

- **ブルーカーボン生態系の再生・創出支援事業**
- **ひょうごブルーカーボン連絡会議**
- **MOBAスタートアップミーティングの開催**
- **MOBAワーキンググループの開催**
- **ひょうごブルーカーボンシンポジウムの開催**
- **下水道展2024東京での取組発表**



1 目的

藻場・干潟の保全・再生・創出に必要な費用を支援し、ブルーカーボンの再生・創出を目指す。

2 支援内容

| | ① 藻場等の再生活動スタートアップ | ② 藻場等の保全活動 |
|--------|----------------------|-------------------|
| 補助対象者 | 県内で活動を行うNPO、大学、民間企業等 | |
| 補助対象事業 | 現地調査、勉強会、先進地視察等 | 藻場等の再生活動、モニタリング調査 |
| 補助金の額 | 上限50万円（定額） | 上限50万（定額） |
| 助成団体数 | 2団体程度 | 3団体程度 |

3 支援先

| | 団体・企業名 |
|-------------------|--------------------|
| ① 藻場等の再生活動スタートアップ | Yellow duck株式会社 |
| | 但馬漁業協同組合 |
| ② 藻場等の保全活動 | 相生湾自然再生学習会議 |
| | 五洋建設株式会社環境事業部 |
| | 兵庫運河の自然を再生するプロジェクト |

1 目的

水質浄化及び物質循環の機能を有し、多様な生物の生息・生育する場やブルーカーボンとして重要である藻場等の保全・再生及び創出を図り、「豊かで美しいひょうごの里海」を実現する。

2 事業内容

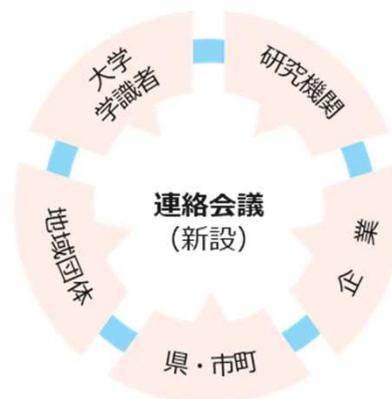
令和5年度の課題整理を踏まえ、藻場再生・創出手法、関係者との合意形成方法、法的手続き、簡易な調査化手法等を取りまとめたガイドブックを作成しHP等へ公開し、企業や地域団体でのさらなる取組促進を図る。

3 連絡会議の構成

| 区分 | 構成員候補 |
|------|--------------------------------------|
| 学識者 | 神戸大学特命教授 川井 浩史 |
| | 国立研究開発法人水産研究・教育機構 島袋 寛盛 |
| | 徳島大学客員教授 中西 敬 |
| 地域団体 | 須磨里海の会 |
| | 相生湾自然再生会議 |
| | アマモ種子バンク |
| | 江井ヶ島漁業協同組合 |
| 企業 | 兵庫県環境保全管理者協会 |
| 研究機関 | 兵庫県立水産技術センター |
| | 兵庫県環境研究センター |
| 国 | 環境省近畿地方環境事務所 |
| | 国土交通省近畿地方整備局 |
| 行政 | 神戸市、尼崎市、西宮市、芦屋市、 明石市、加古川市、高砂市、播磨町 |
| | 姫路市、相生市、たつの市、赤穂市 |
| | 洲本市、南あわじ市、淡路市 |
| | 兵庫県漁業協同組合連合会 |
| 関係機関 | 大阪湾広域臨海環境整備センター |
| | (公財)ひょうご環境創造協会 |
| 事務局 | 兵庫県・(公社)瀬戸内海環境保全協会 |

4 令和6年度スケジュール

- 9月頃** 第1回連絡会議開催
藻場再生創出事業の支援検討 クレジットに向けた検討
企業等での先進事例の紹介
ガイドブック骨子(案)の検討
- 2月頃** 第2回連絡会議開催
ガイドブック(案)の策定 企業等での先進事例の紹介



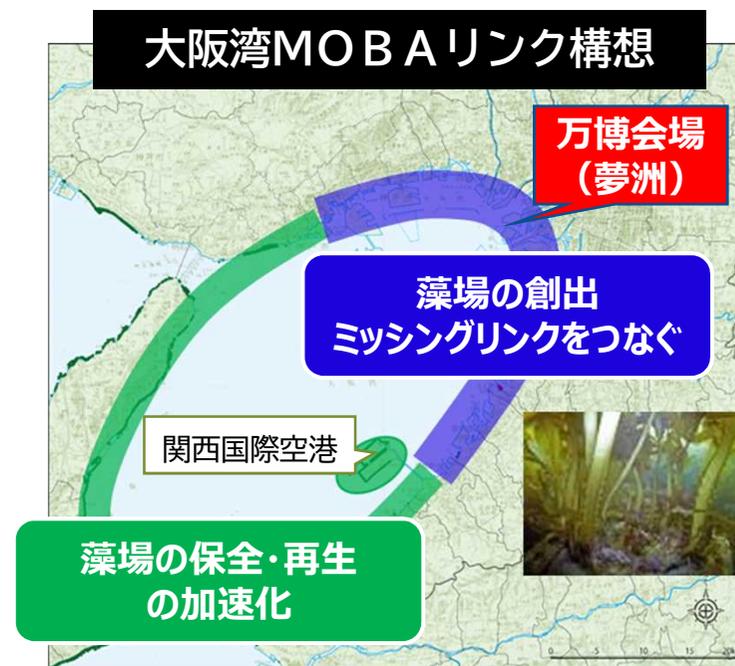
豊かな海を育む「アマモ」

■ 令和6年1月に設立した大阪湾ブルーカーボン生態系アライアンスについて、5月8日、神戸市でスタートアップミーティングを開催しました。

日時：令和6年5月8日（火）13:30～16:00

場所：神戸市中央区文化センター

■ ミーティングには会場・WEBあわせて約100名の会員にご参加いただき、活発な意見交換が行われました。



プログラム

- ①大阪湾ブルーカーボン生態系アライアンス（MOBA）の活動内容
- ②大阪府におけるブルーカーボン生態系関連事業
- ③兵庫県におけるブルーカーボン生態系関連事業
- ④アライアンスの今後の進め方



■MOBAが主催し、9月5日に神戸市須磨海岸でワーキンググループを開催しました。藻場に関する知識を深めるため、基礎講座を行うとともに、藻場保全・再生・創出に向けた検討をするため、ワークショップを開催しました。

■ワーキンググループには会場・WEBあわせて約70名の方にご参加いただきました。

基礎講座

1 大阪湾の地域ごとの海域環境と藻場に与える影響

【講師】 神戸大学・内海域環境教育研究センター海域生物多様性研究分野
上井 進也 教授

2 須磨海岸におけるブルーカーボン生態系の再生・創出の手法案

【講師】 一般社団法人須磨里海の会
吉田 裕之 先生

ワークショップ

①情報発信強化チーム

②藻場創出推進チーム(大阪湾奥部・港湾エリアを想定)

③藻場保全・再生活活性化チーム(大阪湾南西部を想定)

④取組促進チーム(ブルーカーボン生態系のビジネス化検討)



■兵庫県、神戸市、ひょうご豊かな海づくり県民会議が主催、MOBAが共催で、近年注目されているブルーカーボンをテーマに、先進的なブルーカーボンの取組事例を共有する「ひょうごブルーカーボンシンポジウム」を開催しました。

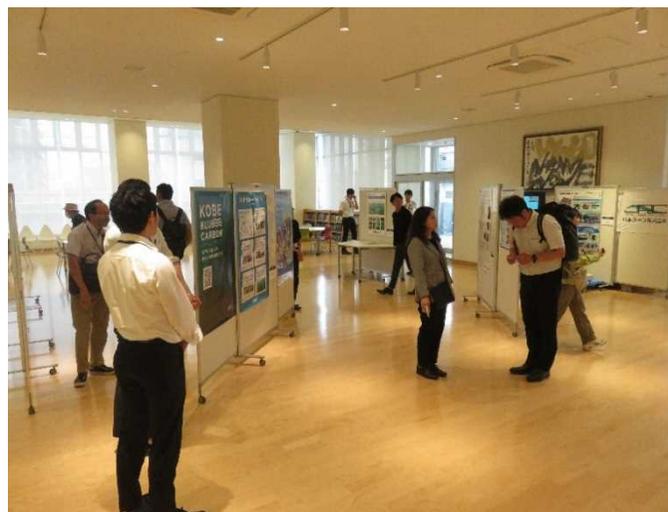
■シンポジウムは会場・WEBあわせて約230名の方にご参加いただきました。



プログラム

- ・国土交通省におけるブルーカーボンとブルーインフラの取組み
- ・神戸市の取組み紹介
- ・周南市の取組み紹介
- ・鳥取県の取組み紹介
- ・ブルーカーボンの将来展望 (港湾空港技術研究所)
- ・大阪府の取組み紹介
- ・兵庫県の取組み紹介

アーカイブ配信



■下水道展2024東京の併催企画にて「兵庫県栄養塩類管理計画」について、発表を行いました。また、「豊かな海とブルーカーボン施策の社会実装に向けて」と題してパネルディスカッションを行いました。

日時：7月30日（火）15:00～17:00

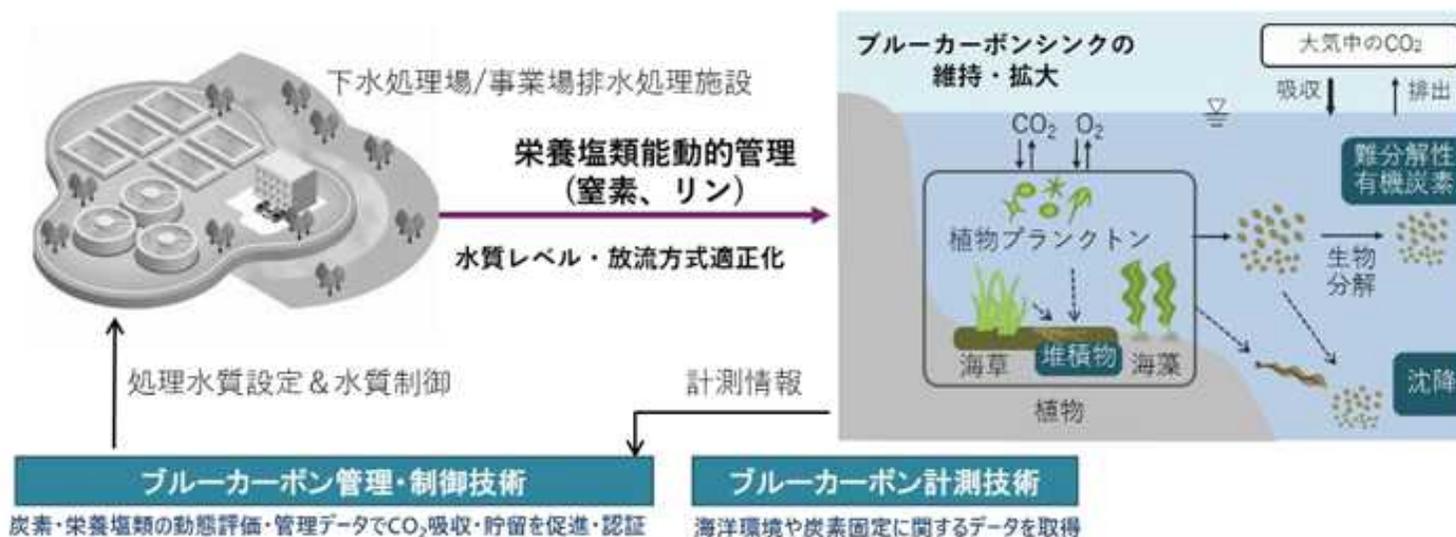
場所：TFT（東京ファッションタウン）ビル研修室907

主催：ジャパングループエコノミー推進研究会BERG

「ブルーカーボン促進のための栄養塩供給管理プロジェクト」

共催：国土交通省 水管理・国土保全局上下水道グループ

下水処理場等からの栄養塩類供給が、豊かな海づくりや藻場再生・創出を通じたブルーカーボン創出の可能性のあることについて、意見を交わしました。



下水道ブルーカーボン構想の概念図



藻類育成実験の様子
出所：JBE BERG